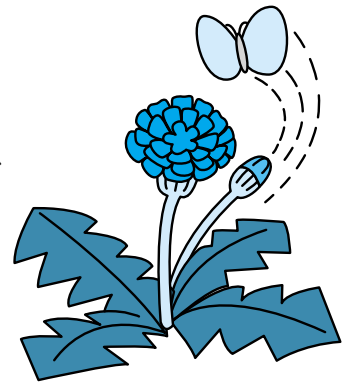


一般質問 市政に望む

今回の定例会では、3月2日、5日、6日、7日の4日間にわたり、29名の議員が市政を取り巻く諸問題について、意見・提案をまじえながら、市長などの考えをたどりました。
質問、答弁の要旨は次のとおりです。



家庭等のごみ袋の見直しを問う

おく栄一(公明党)
能ヶ谷緑地(通称お化けマンション)の管理と市民開放について。
町田助役 当緑地には貴重種があり、あるいは、がけ地等危険箇所があるという課題があります。そういうものを踏まえ、今後市民への一般開放は拡大に向けて検討したい。
町田助役 家庭ごみ等の指定収集袋について。
市長 高齢者世帯に対しての無償配布の基準は、七〇歳以上を対象に、本年七月を目途に実施します。
清掃事業部長 袋のサイズは、今後もう少し研究したい。
町田助役 市民病院を中心とした緩和ケア体制の取り組みについて。
市民病院総院長 新病棟の最上階に一八床、すべて個室に充てて、緩和ケア病棟を計画しています。今準備委員会を立ち上げたところです。

テレビ受信料の免除について

谷沢和夫(民主党・社民ネット)
厚木基地騒音被害対策として、難視聴地域のNHK受信料半額免除という措置がとられている。町田でもうるささ指数七五以上の区域はその適用を受けるべきである。
企画部長 テレビ受信料の免除区域の拡大と全額免除については、町田市だけではなく、立川市を初め、幾つかの市も同じように要望を持っています。市としては、そういう関連の市とも連携をとりながら、引き続き粘り強く東京都を通じて要望していきたい。
町田助役 市長は政治資金規正法違反事件について一二月以降もその反省の念を市民に伝え、と言ってきたが具体的に、
市長 地域の集會、懇談会などの席において、冒頭にお話を申し上げています。今後も真摯な反省の上に立ち、引き続き市長の職を担っていきます。

小山地域の新設小学校について

佐藤伸一郎(まちなだ新世紀)
近隣に建設計画がある生コン建設設計画を中止してもらったが考えを問う。
町田助役 現時点では、都が定めている都民の健康と安全を確保する環境に関する条例に基づき、工場認可申請が行われていません。こういった状況で、市としては具体的な計画は把握していません。今後、計画が明らかになってきた際には、市として適切に対応していきます。
町田助役 小山地域のように人口急増地域における学校建設は、小学校の仕様だけを考えるのではなく、将来の転用(中学校)も考えた仕様にすべきと考えるがどうか。
学校教育部長 地元の方から、将来、児童数が減少した際、中学校に変更できないか期待する声も聞いています。今後、地元と話しながら、建物の構造も考慮していきたい。

SL展示のあり方を検討せよ

井上正行(民主党・社民ネット)
D51SLが、すみれ会館横に展示されており、大数の市民もその存在を知らない。活用がされていないように見えるが、このような状態をどのように考えるか。
子ども生活部長 昭和四七年五月五日に実物を見る機会のない子どもたちの教材として現在の場所に展示をし、三五年経過しています。D51保存会ができており保守や清掃、あるいは管理業務をお願いしています。日曜、祭日には見学者の説明会もしており、一定の役割を果たしていると考えています。
町田助役 相原中央公園に移設するなど、子どもたちのためにふさわしい場所への展示を考えるべきであると思うが。
市長 野津田に大きな公園がありますので、そのようなところも含めて、一つの提案として受けとめます。



すみれ会館横に展示されているD51SL

若者の就業支援に市独自施策を

佐藤洋子(日本共産党)
若者の就業実態調査を行い、相談窓口開設、労働法のパンフ普及に力を尽くせ。
環境・産業部長 実態調査については、市の独自調査は考えていません。今後とも、都やハローワークと連携して把握に努めていきたい。
町田助役 不妊治療、子どもの医療費無料化、妊婦健診無料回数増やすなど子育て支援を、
保健介護推進担当部長 本年一月の国通知、「妊婦健康診査の公費負担の望ましいあり方について」が示され、夏を目途に、都の基準の見直しを予定されています。市もその動向を見守っていききたい。
町田助役 介護保険見直しで、介護ベッド、車いすを取り上げられた人に、今まで通り貸与し補助制度を設けるべき。
保健介護推進担当部長 貸し出しに対する補助を行う考えは現在持っています。

良好な都市農地保全に努めよ

おさむら敏明(自由民主党)
農地は減少傾向にある。国が定める生産緑地法に沿って、良好な農地保全に努め、自然と調和した街づくりを。
市長 都市農地は農産物を生産するだけでなく、防災機能を有するなどの重要な役割を担っていると認識しており、今後も都市農地の保全、育成に取り組んでいきたい。
町田助役 生産緑地の指定について、三月一日付で、生産緑地法に基づき五〇〇平米を基準とすることに運用見直しをしました。
町田助役 スポーツ活動を通じ、学校・地域が健やかに子どもを育てる、環境整備をし、「スポーツ拠点づくり推進事業」を取り入れ、全国大会を町田市で実施していかかがか。
教育長 実施することになると、開催主体に相当の力量が要請されます。開催の可能性等を今後研究していきたい。

南成瀬「堂之坂公苑」について

上野孝典(公明党)
南成瀬五丁目にある堂之坂公苑は江戸幕府の旗本、井戸家の米蔵跡地であったことを踏まえ、幕末の外交に活躍した井戸石見守弘道を記念する名称にしてはどうか。
町田助役 公園名称は、都市公園法に基づき告示をしており、変更は一定の手続きが必要で、若干難しい面もあると考えます。一方、例えば、愛称ということであれば、地元の要望を踏まえて対処していくことも可能と考えます。
町田助役 団塊世代の大量退職は市役所のスリム化を図る好機と考えるが。
市長 団塊世代の大量退職は一つの契機だと考えます。行政はそれぞれの分野で多岐にわたっていますから、さまざまな形で市政への協力をいただいて、今後も民間の優秀な方々の活用を図っていききたいと考えています。

指定管理者制度について問う

渋谷武己(まちなだ新世紀)
現状の制度運用は、公営施設の所有者である市民が市民体育祭などの行事にも指定管理者に対し利用料を支払うなどさまざまな問題を抱えている、早期に運用の見直しが必要と考えるが。
市長 まずは指定管理について、外部からその経営努力、経営に対する意欲等を評価できるようにする必要があるのではと考えます。
岩崎助役 事務担当で問題点を共有することが必要かと思えます。まずはそういった場から始めていきたい。
町田助役 市長の公約でもある特殊勤務手当の廃止に向けた取り組みの現状は。
岩崎助役 極めて特殊な業務を除いては、特殊勤務手当を廃止する方向で職員団体との協議も進めており、二〇〇七年度の早い段階で改正条例案を議会に提案したい。